

三上・田上・信楽県立自然公園 希望が丘集団施設地区

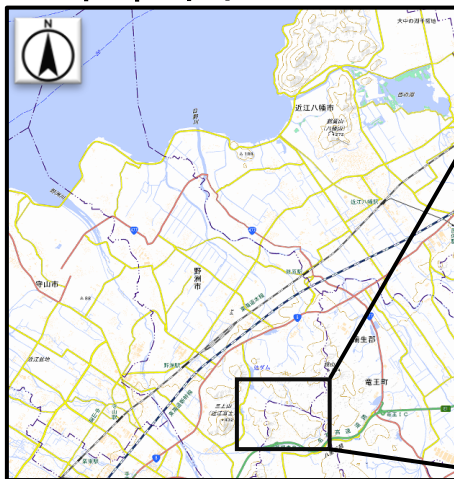
宿舎事業・野営場事業の決定について

希望が丘集団施設地区 概要

●完成予想イメージ

第2種特別地域（県有地）

●位置図



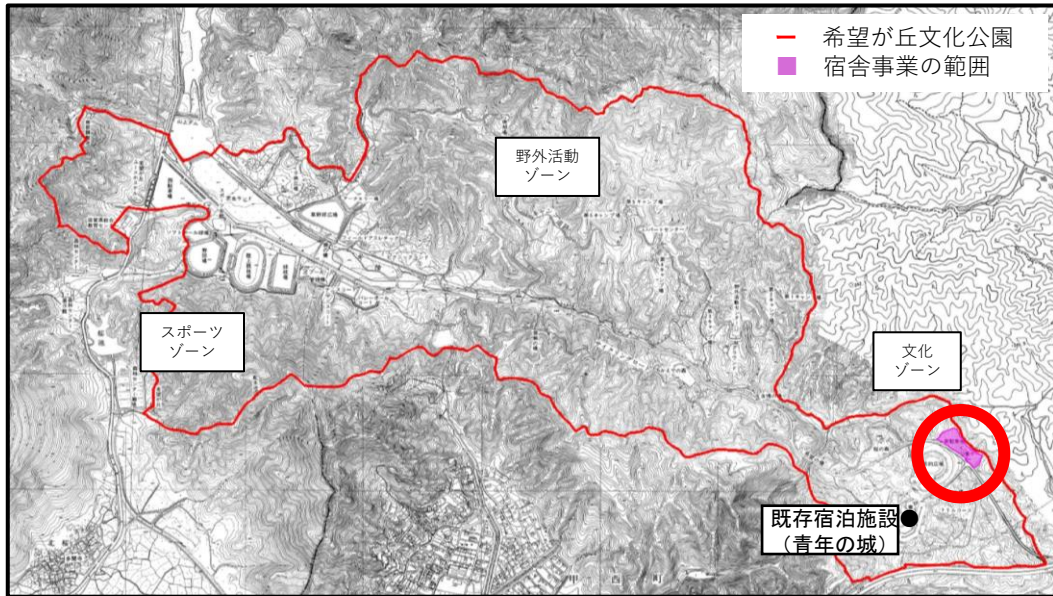
●希望が丘文化公園区域（航空写真）



- 希望が丘文化公園は、昭和47年度(1972年度)に開園した。野洲市、湖南市、竜王町にまたがる公園（約416ha）。
- 園内は3つのゾーンに分かれている。スポーツゾーンには陸上競技場などのスポーツ施設や芝生広場等、野外活動ゾーンには山林内にキャンプ場やロッジ等、文化ゾーンには多目的広場や宿泊施設がある。
- 令和5年度の希望が丘文化公園利用者数は約84万2千人。主たる利用目的は各種イベントやスポーツ大会への参加、スポーツ施設利用などとなっている。
- 公園全体の魅力の向上と、年間来園者数100万人以上の目標を達成するため、今年度に滋賀県が活性化方針を定め、令和9年度以降の事業開始を予定している。

希望が丘集団施設地区 宿舎事業

●公園事業区域図

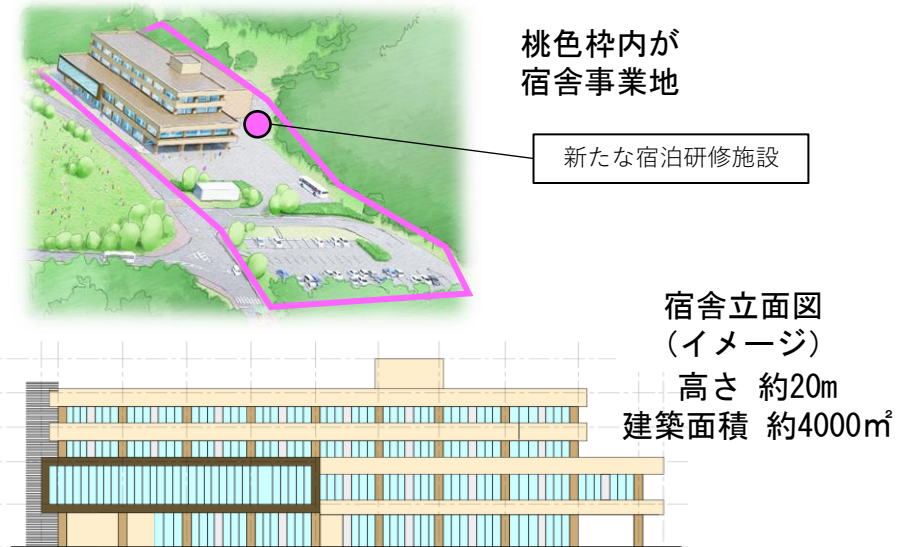


●現況写真



区域面積：1.1ha
最大宿泊者数：220人/日
執行者：滋賀県

●完成予想イメージ



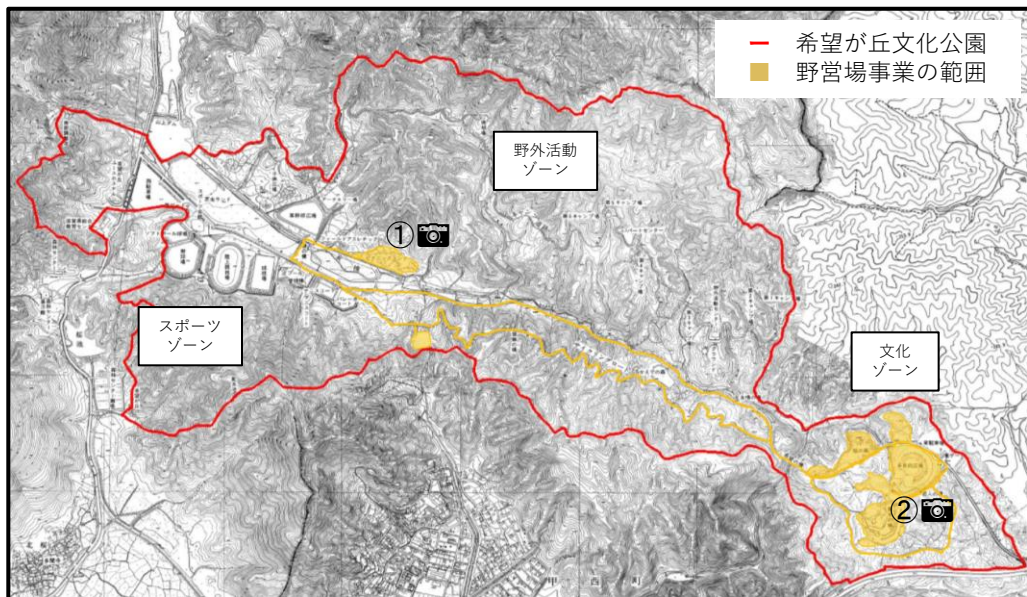
○文化ゾーン内にある既存の宿泊施設（青年の城、最大宿泊者数：360人/日）は、建築から50年以上が経過し、施設および設備の老朽化が進んでいること等から、同ゾーン内の既存の駐車場内に場所を移し、最大宿泊者数：220人/日の宿泊施設を建て替えようとするもの。なお、令和5年度の宿泊施設利用者数は、約3万5千人。

○建設予定地は既に舗装された駐車場となっており、事業実施により自然環境へ与える影響は小さい。

希望が丘集団施設地区 野営場事業

区域面積：17ha
 最大宿泊者数：850人/日
 執行者：滋賀県、民間（予定）

●公園事業区域図

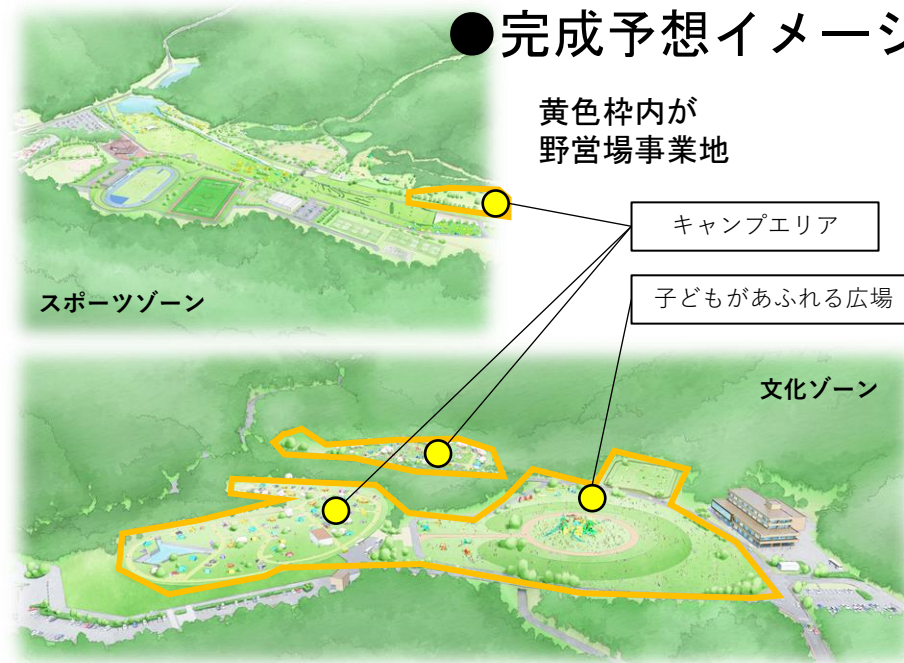


●現況写真



（野営場予定地）現況：芝生
 ①ピクニックランド周辺
 ②青年の城前

●完成予想イメージ



- 野外活動ゾーン内には、既存のキャンプ場やロッジがあるが、1区画が狭いことや駐車場が区画から遠い等の理由で利用者ニーズに対応できていないことから、スポーツゾーンおよび文化ゾーン内の既存の芝生エリア内に、新たに野営場を設けようとするもの。
- 野営場予定地は既に整備され芝生の広場等となっており、事業実施により自然環境へ与える影響は小さい。